「EV充電サービス「プライブ」を用いたEV車普及への取組み」

※野村不動産株式会社、九州電力株式会社の共同受賞

【概要】

分譲集合住宅においてEVを充電できる区画が少ない現状を踏まえ、充電設備をマンションの電気 設備とは別系統及び低圧電力で引き込むことにより、高まるEV需要に応えるサービス。初期費用 を抑えられる低圧引込に加え、充電器は利用者との個別契約で管理費負担ゼロを実現。さらに、将 来の需要増を見越して導入時に増設計画まで立案。増設も容易に対応。

< EV 充電サービス「プライブ」を用いた EV 車普及への取組み 仕組み図>

- ◆共用の電気設備を使わないためマンション側の (管理組合/非EV保有者)負担ゼロ
- ◆将来の需要増を見越して工事が簡単な低圧引込を採用し、 ノウハウを持った九州電力が行うことで容易で安価 に台数を増やせる
- ◆専有区画での充電を可能にし、操作や請求も 利用者にも分かりやすいアプリで完結





< 充電設備の増設フロー>

引渡後の設備増設についても当初から計画することで、引渡段階では設備コストを抑え、将来無理なく全区画EV対応できるスキームを実現。



